

<p>【イベント名】 第23回 北京協和大学との早期胃がんカンファレンス</p>	<p>【概要】 7施設からの医師が参加して、20施設以上のストリーミング視聴者と共に、早期胃がん（EGC）について議論した。各施設から計4症例が提示され、内視鏡医と病理医によって充実した意見交換が行われた。特に、EGCに似た不規則な微小血管構築像（MVP）を持つ胃ポリープは参加者に強い印象を与えた。インターネットが不安定で何度か中断があったものの、カンファレンスを成功させることができた。</p>
<p>【期日】 2017.03.22</p>	
<p>【会場】 北京協和医院（中国）、復旦大学中山病院（中国）、天津医科大学（中国）、南方医科大学 南方医院（中国）、順天堂大学（日本）、福岡大学筑紫病院（日本）、九州大学病院（日本）</p>	



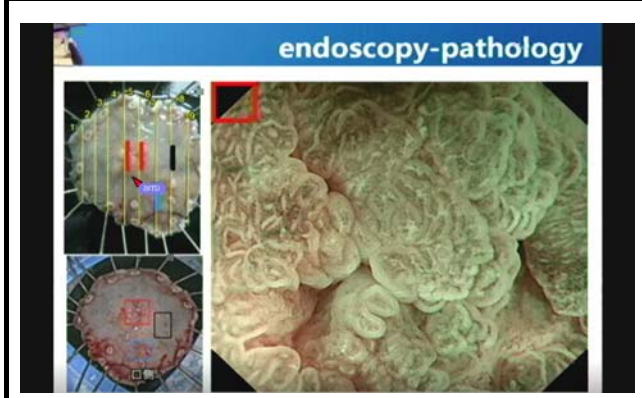
モニタに表示される接続施設。

撮影場所：九州大学病院



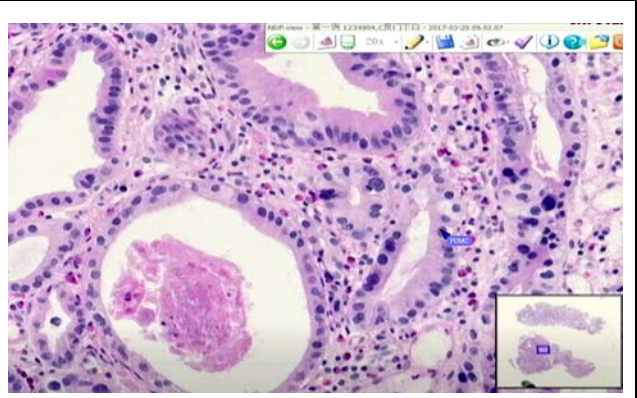
九州大学病院の様子。

撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド。

撮影場所：九州大学病院



テレポインターによる病理画像のディスカッション。

撮影場所：九州大学病院



北京協和医院の様子。

撮影場所：九州大学病院



コメントするDr. 城山。

撮影場所：九州大学病院